

日本内分泌病理学会 理事会 議事録

日 時：2008年5月18日（日）12:00～13:00

場 所：ホテル青森 5F 松の間

出席者：佐野壽昭理事長、笹野公伸、寺本 明、井上金治、
成瀬光栄、小澤安則の各理事
田辺晶代オブザーバー（高野代理）

欠席者：長村義之、高見 博、覚道健一、加藤良平 の各理事、
山下裕人、高野加寿恵の各監事

議 題：

<審議事項>

1. 第82回日本内分泌学会学術総会のプログラムについて
2. 会則（定款）の改訂について
 - ・第17条へ功労評議員制度の追記
3. 研究賞に関する細則の一部修正について
4. 評議員推薦に関する内規の制定について
5. EPS との連携のあり方について
6. コンパニオンミーティングの開催について
7. 会員増加の方策について

<報告事項>

1. 第12回（2008年）学術集会の準備状況
2. 第13回（2009年）学術集会の紹介
3. 研究事業計画について
 - ・悪性褐色細胞腫の病理診断
4. EPS（デンバー）について
5. ホームページの運用状況について
6. 会費納入状況について
7. 第83回（2010年度）日本内分泌学会学術総会のプログラムアンケートについて

<その他>

1. 事務局から
 - ・役員選挙（半数改選）について
 - ・担当者の交代について

冒頭、佐野理事長より、欠席者からは委任状が提出されているので定足数を満たし、本理事会は成立するとの報告があり、引き続き同理事長の司会により議

事進行が行われた。

<審議事項>

1. 第 82 回（2009 年度）日本内分泌学会学術総会のプログラムについて

- ・当該年度のプログラム委員である井上理事より、当学会関連のテーマは例年より多く採用されたとの報告があった。従って、当学会として追加提案は行わないことを確認した。

2. 会則（定款）の改訂について（第 17 条への功労評議員制度の追記）

- ・成瀬庶務担当理事より、昨年の総会において功労評議員制度の内規は承認されたが、その定款への反映が行われていなかったことから、下記の定款改訂案が示され原案通り承認された。9 月の総会に諮り、正式承認とする。

改訂案（新）	現行（旧）
<p>（評議員および功労評議員の選出<u>並びに</u>任期）</p> <p>第 17 条</p> <p>評議員は、評議員 2 名以上の推薦に基づき、理事長が理事会に諮り、評議員会の議を経て定め、学術集会時の総会の承認を得るものとする。</p> <p>2. 評議員の任期は 4 年とし、再任を妨げない。ただし、再任は理事会において審議し、評議員会および総会の承認を得るものとする。</p> <p>3. 評議員は満 65 歳の誕生日を迎えた後の学術集会時の総会の日をもって任期を終了する。</p> <p><u>4. 功労評議員は前項により任期を終了した評議員で、本学会活動への貢献の著しい者の中から評議員の推薦に基づき、理事長が理事会に諮り、評議員会、総会の承認を得るものとする。任期は定めず、権利は別途内規に定める。</u></p>	<p>（評議員の選出および任期）</p> <p>第 17 条</p> <p>評議員は、評議員 2 名以上の推薦に基づき、理事長が理事会に諮り、評議員会の議を経て定め、学術集会時の総会の承認を得るものとする。</p> <p>2. 評議員の任期は 4 年とし、再任を妨げない。ただし、再任は理事会において審議し、評議員会および総会の承認を得るものとする。</p> <p>3. 評議員は満 65 歳の誕生日を迎えた後の学術集会時の総会の日をもって任期を終了する。</p>

(参考) 功労評議員に関する内規

1. 日本内分泌病理学会は、本学会活動への貢献の著しい評議員を、満 65 歳の年齢による任期満了後に、功労評議員として、その労を讃えるものとする。
2. 功労評議員は学術講演会での研究発表や講演の権利を有するが、評議員会および総会での議決権を有さない。
3. 功労評議員は、新評議員を推薦することができる。
4. 功労評議員は、年会費を納めることを要しない。
5. 評議員は功労評議員候補者を理事長に推薦し、理事長は理事会および評議員会ならびに総会の承認を得て、功労評議員とすることができる。
6. 功労評議員の任期は定めない。

3. 研究賞に関する細則の一部修正について

- ・成瀬理事より、昨年の総会において一部修正が承認された研究賞に関する細則について、下記のように2の(2)を修正したとの報告があり、これを了承した。

日本内分泌病理学会の研究賞に関する細則
(日本内分泌病理学会会則 第 31 条の補足)

施行：平成 16 年 6 月 24 日

改訂：平成 19 年 10 月 19 日

1. 内分泌病理学の研究を奨励する目的で日本内分泌病理学会最優秀賞 (Distinguished Investigator Award of Japan Endocrine Pathology Society) および日本内分泌病理学会奨励賞 (JEPS Young Investigator Award) の二つの研究賞を設ける。
2. 選考基準
 - (1) 本学会において内分泌病理学的に優れた演題の発表を行った研究者より選んで授与する。
 - (2) ~~若手奨励賞は基礎~~研究分野と症例報告分野を設ける。
 - (3) 対象の研究者は、当該年度末で満 40 歳未満、日本内分泌病理学会の会員であること。
 - (4) 毎年、原則として若干名に授与する。
3. 選考方法
 - (1) 受賞者を選考するために、選考委員会を設ける。
 - (2) 選考委員長は当該年次総会の会長が担当し、選考委員は選考委員長が委嘱・任命する。
 - (3) 選考方法の詳細は選考委員長に一任する。
4. 選考委員会は受賞者を決定し、年次学術総会にて授与する。
5. 日本内分泌病理学会最優秀賞の受賞者には若干の副賞を授与する。

4. 評議員資格と推薦方法について

- ・成瀬理事より、平成 19 年 6 月の理事会から懸案となっている評議員推薦の基

準および推薦方法を明確にするため、近日中に具体的な応募・申請書式を作成したいとの提案があり了承された。

5. EPS との連携のあり方について

- ・特にないが、機関誌がまだ重複して送付されてくるとのクレームがあり、理事長から再度申し入れることとした。

6. コンパニオンミーティングの開催について

- ・若手研究者のリクルートを目的として、日本病理学会会期中に同学会および日本内分泌学会の共催の形とする方向で、両学会の役員である長村理事を中心に検討することとした。

7. 会員増加の方策について

- ・複数の理事から、会員を対象とした病理コンサルティングを行ってはどうかとの提案があり、意見交換の結果、同様の計画がある日本内分泌学会の動向も見ながら庶務理事（成瀬理事・加藤理事）を中心に検討することとした。

<報告事項>

1. 第12回（2008年）学術集会の準備状況

- ・井上会長より、日時、会場、演題締切日について下記のように紹介があった。

日時：2008年9月26日（金）・27日（土）

会場：大宮ソニックシティ 国際会議場

〒330-8669 さいたま市大宮区桜木町1丁目7番地5

一般演題・症例演題の提出締切日：2008年7月30日（金）

また、抄録原稿については、日本内分泌学会分科会抄録集に掲載される原稿と本学会プログラム集に掲載される原稿の2種類が必要であることが強調された。特別講演として Paraganglioma の遺伝子変異（竹越一博）、シンポジウムとして、「甲状腺濾胞癌の臨床と病理」、「病理と臨床現場のクロストーク」、特別企画として（会長講演に代えて）「下垂体濾胞星状細胞の役割」が紹介され、多数の参加が要望された。

なお、理事会は26日11時～予定されている。

2. 第13回（2009年）学術集会の紹介

- ・欠席の加藤会長に代わって、佐野理事長から日程、会場とも未定であるとの報告があった。

3. 研究事業計画について（悪性褐色細胞腫の病理診断）

- ・成瀬理事より、自らが委員長を務める「悪性褐色細胞腫の実態調査と診療指針作成」の検討委員会について進捗状況の説明があった。その中の病理領域に関し、執筆は済んでいるのでリエゾン学会としての日本内分泌病理学会に査読という形で協力願いたいとの要請があり了承された。

4. EPS（デンバー）について

- ・特になし。

5. ホームページの運用状況について

- ・寺本広報担当理事より、最新のニュースは掲載されているが、トップページのデザインが適切でないとの指摘があり、佐野理事長が当学会に相応しい染色の写真を提供しトップページのデザインを変更することになった。

6. 会費納入状況について（2008年5月7日時点）

- ・会員数：195名
- ・2007年度会費納入者 124名（63%）

7. 第83回（2010年度）学術総会のプログラムアンケートについて

- ・当該年度のプログラム委員である成瀬理事より、第83回は2010年3月26日（木）～30日（火）に国立京都国際会館で開催され、第1日目は国内学会、第2日目からはICE2010と同時開催（英語使用）となるとの紹介があった。
- ・寺本会長から、この年はUpdateが開催されないので、教育をキーワードとし、第1日目は「教育講演」や「クリニカルアワー」を中心に組み、第2日目以降はICE2010のプログラム枠組みに依るが、「JES主導のシンポジウムまたは何らかの企画」を行いたいとの説明があった。
- ・成瀬理事より、プログラムアンケートの第1段階として、第1日目の国内学会用に「教育講演」および「クリニカルアワー」のアンケートを6月に実施するので、提案願いたいとの要請があり了承された。

<その他>

1. 事務局から

（1）役員選挙について

- ・事務局から、本年（2008年）の総会をもって任期満了となる理事5名の改選を行うとの説明があり、これを確認した。7月頃に、前回同様郵送による投票

を行う予定である。

任 期	理 事	監 事 (理事長推薦)
留 任 (2006年11月～2010年総会)	佐野壽昭、覚道健一、 笹野公伸、加藤良平、 成瀬光栄	山下裕人
任期満了 (2006年11月～2008年9月)	長村義之、高見 博、 寺本 明、井上金治、 小澤安則	高野加寿恵

(2) 担当者の交代

- ・同じく、事務局業務は退職した寒川に代わり、和田が担当することが報告された。

アドレス： 事務局 jeps@alto.ocn.ne.jp

和 田 wada-naibunpi@shirt.ocn.ne.jp

以上

(記録 事務局 岸、理事長・庶務理事承認)